

知っていますか？

# 風水害発生時の行動

洪水や土砂災害などの風水害から、どのように身を守れば良いか知っていますか？  
被害を最小限に防ぐため、風水害発生時取るべき行動について考えてみましょう。

## 危険な地域に住んでいるなら早めの避難が原則です！

気象情報や避難情報で、お住いの地域の災害危険を把握した場合、周囲が浸水する前に早めに避難を開始しましょう。特に夜に大雨が予想されるときは、暗くなる前に早めの避難を心がけましょう。

マイ・タイムラインで避難のタイミングを決めておきましょう



マイ・タイムラインの作成はこちらから



## 浸水 避難のポイント

- ☑ 逃げ遅れた場合は、無理に外に出ない 建物の上階へ避難！  
浸水時に歩行可能な目安は、50cmまで。  
流れがあれば、それ以下でも危険。
- ☑ 車で避難しない！  
浸水でエンジン停止し立往生する可能性がある。
- ☑ 河川などには決して近づかない！  
河川の様子を見に行くと、濁流に巻き込まれる危険がある。
- ☑ 動きやすい服装で移動する！  
荷物は背負えるリュックのみ、両手が使えるようにする。  
長靴は水が入ると動きづらい、運動靴の方が良い。  
杖などを使えば、段差や障害物を避けることができる。



# 土砂災害 避難のポイント

☑ 土砂災害の予兆を確認したら、避難情報が出される前に避難する！



斜面にひび割れができる。



雨が降り続けているのに、川の水位が下がる。



がけから出る水がにごる。



わき水の量が増える。



地鳴りの音が聞こえてくる。



地面にひび割れができる。



がけに亀裂が入る。  
がけから小石が落ちてくる。



川が濁ったり、  
流木がまざり始める。



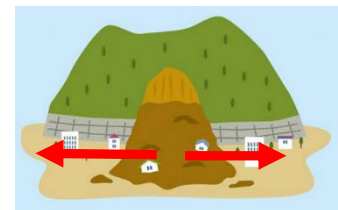
斜面から水が噴き出る。

☑ 逃げ遅れた場合

建物の上階へ、斜面の反対側にある部屋に避難する！

☑ 土石流から逃れる方法

流れが非常に速いので、背を向けて逃げると巻き込まれる。  
流れの方向に対して直角に逃げる。



他にも防災情報がたくさん！  
「防災に役立つチラシ集」



楽しく動画で防災を学ぼう！  
「にしのみや防災チャンネル」

